

【サステナビリティ・リスペクト委員会 リスペクト部会】
ユース審判パブリックコメント2026実施報告

2026年10月

- 目的
 - ①ユース審判の声を聞き、ユース審判員が、いつでも、どこでも、安心・安全に審判として活動できる環境を作るための取り組みに反映する
 - ②本データをもとに、今後の活動の検討や研修反映することを検討する。
- 対象 ユース審判（中学1年生～高校3年生）
- 期間 2026年7月2日(木)～9月3日(木)
- 方法 webフォーム
- 発信 JFAの各種オウンドメディア（JFA.jp・SNS・KICKOFFメール）
- 補足 調査は匿名で実施し、個人を特定はしない
調査の結果は、回答者が特定されない形でJFA公式サイト等に公表予定
- 回答数:309件（うち有効回答数:307件）

質問内容

皆さん自身のことを教えてください

性別*
☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答なし

学年*
☐中学1年生 ☐中学2年生 ☐中学3年生
☐高校1年生 ☐高校2年生 ☐高校3年生

住んでいる都道府県*
▼○○県（プルダウン選択）

サッカーとの関わり（複数選択可）*
☐選手 ☐審判 ☐マネージャー
☐指導者 ☐ファン・サポーター
☐その他（自由記述） ☐なし

所属チーム（複数選択可）*
☐部活動 ☐クラブチーム
☐スクール ☐その他（自由記述） ☐なし

審判の資格を持っていますか？
☐サッカー ☐フットサル ☐なし
☐4級 ☐3級 ☐2級

*は回答必須

皆さんのサッカーのことを教えてください

そう感じる理由を教えてください。
自由記述

「リスペクト」という言葉を知っていますか？
☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

「フェアプレー」という言葉を知っていますか？
☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

「セーフガーディング」という言葉を知っていますか？
☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

日本サッカー協会の「暴力等根絶相談窓口」を知っていますか？
☐はい ☐いいえ

今、サッカーは楽しいですか？
☐とても楽しい ☐楽しい ☐普通
☐楽しくない ☐全く楽しくない

審判を始めたきっかけは何ですか？
☐チームで資格取得 ☐監督に勧められて ☐審判にあこがれて ☐サッカーにずっとかかわりたい ☐その他
（ ） ☐自分がしたことはない

審判のやりがい、よろこび、やっていてよかったと思うときを教えてください？
自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不安を感じたりすることはありますか？
☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

そう考える理由を教えてください。
自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、いやな思いをしたり不安を感じたりする原因になるのはどんなもの・ことだと思いますか？
自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、大事なことは何だと思いますか？
自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、“自分たち”ができることはありますか？
☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

それは何ですか？
自由記述

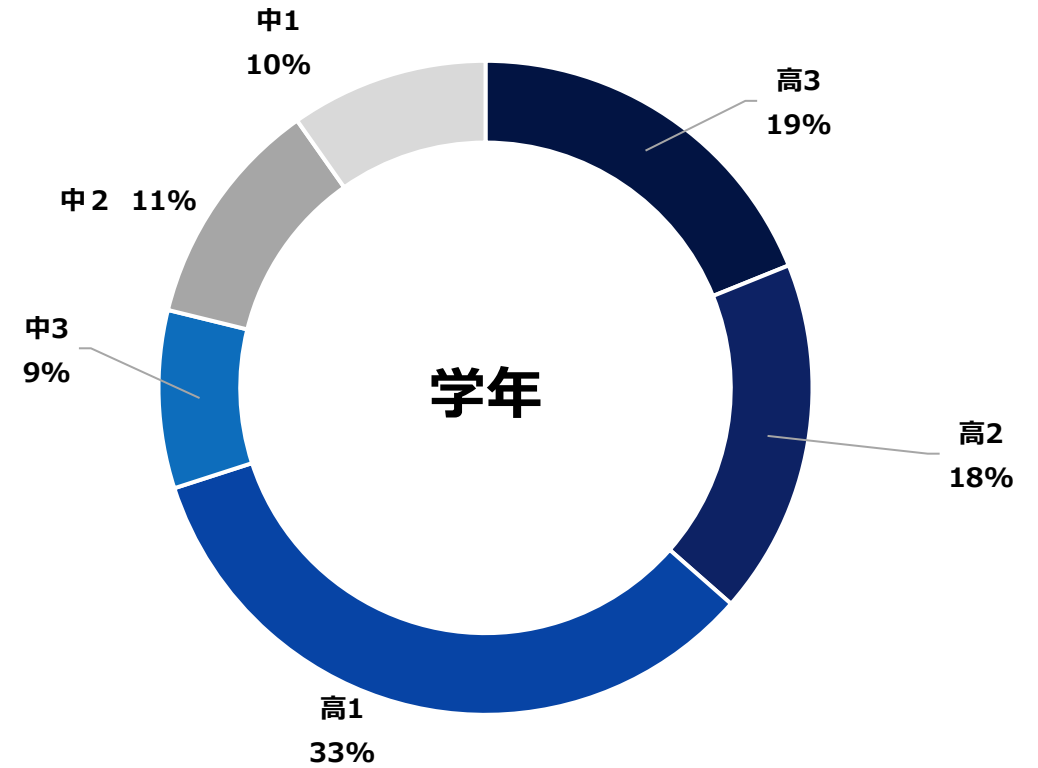
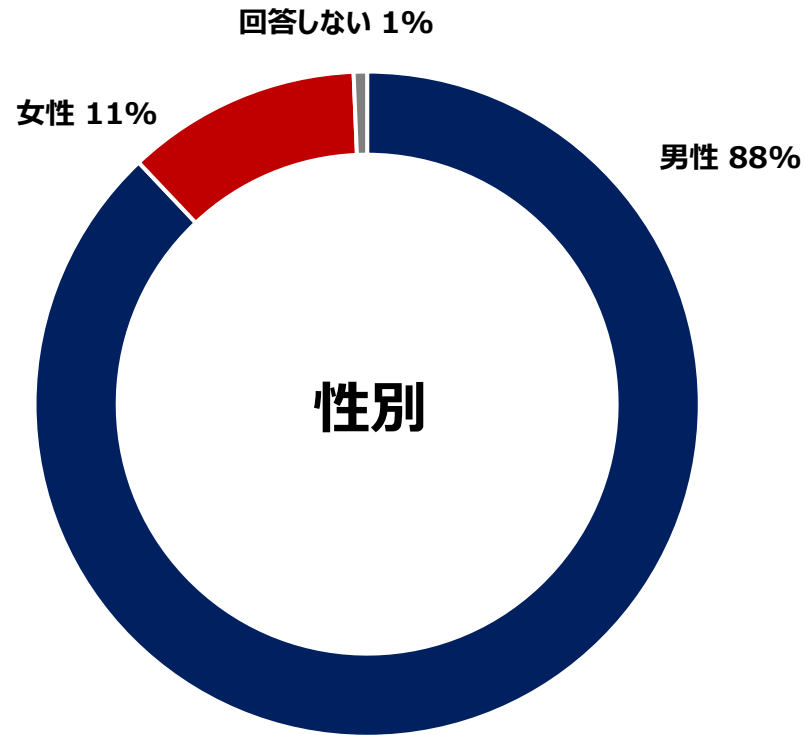
皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、“大人たち”ができることはありますか？
☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

それは何ですか？
自由記述

その他意見があれば教えてください。
自由記述

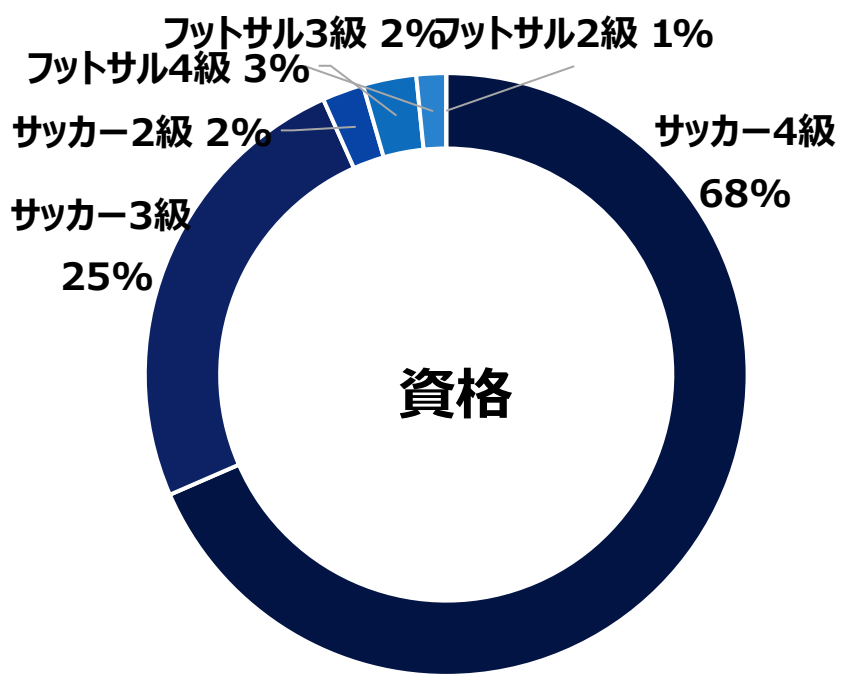
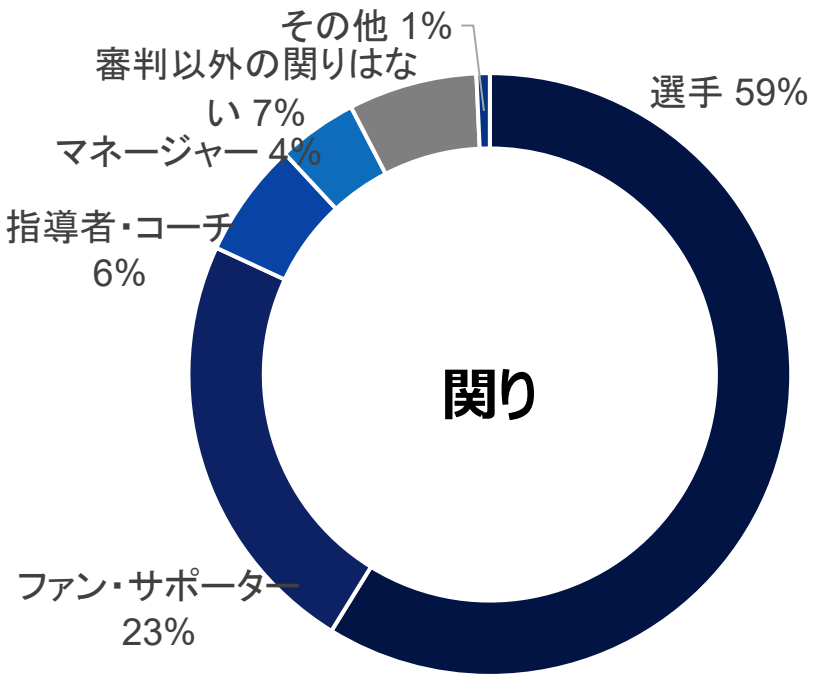
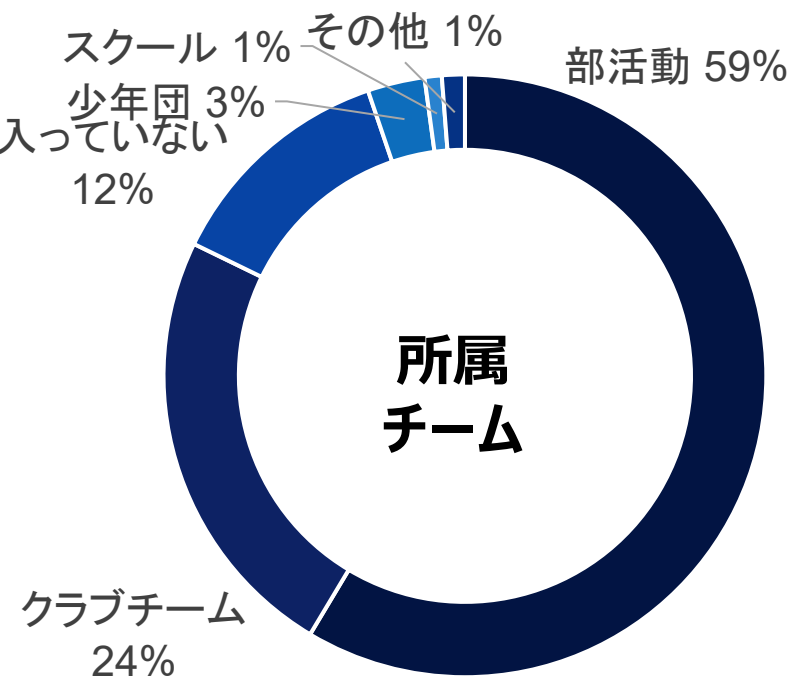
回答者

- ◆回答者の性別は男性が88%、女性が11%
- ◆年齢は高校生が70%を占めたものの、中学生の回答は30%あった。



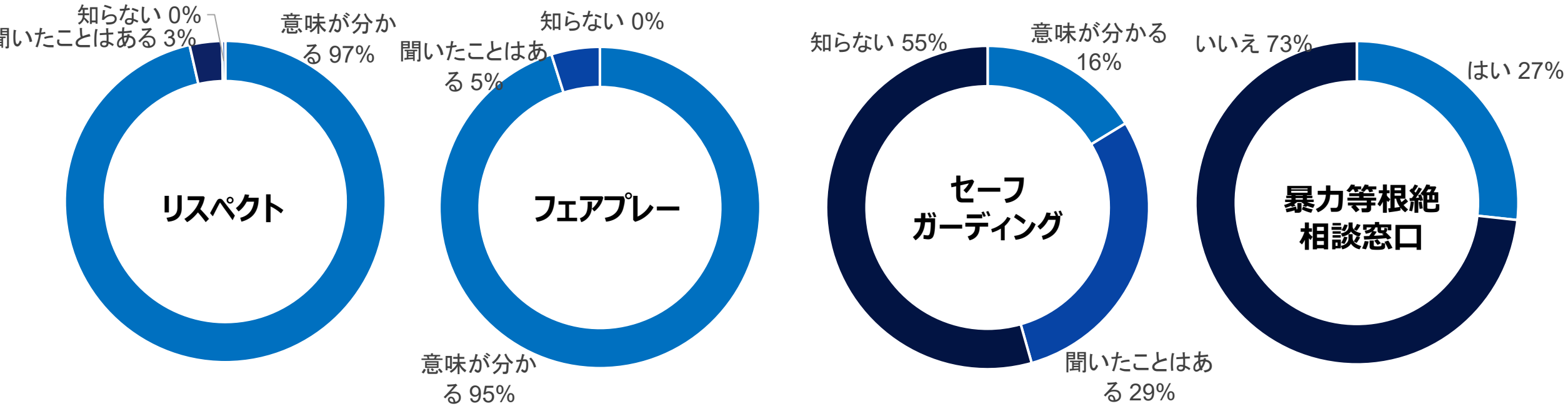
所属先・属性・資格

- ◆ 大多数が部活動やクラブチームの選手として活動をしなから、ユース審判員として活躍。
- ◆ サッカー3級・4級を中心に資格を保有。



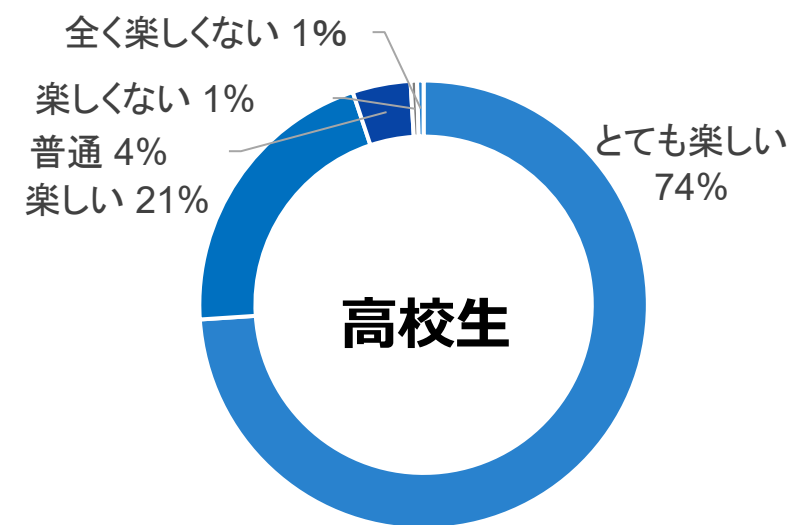
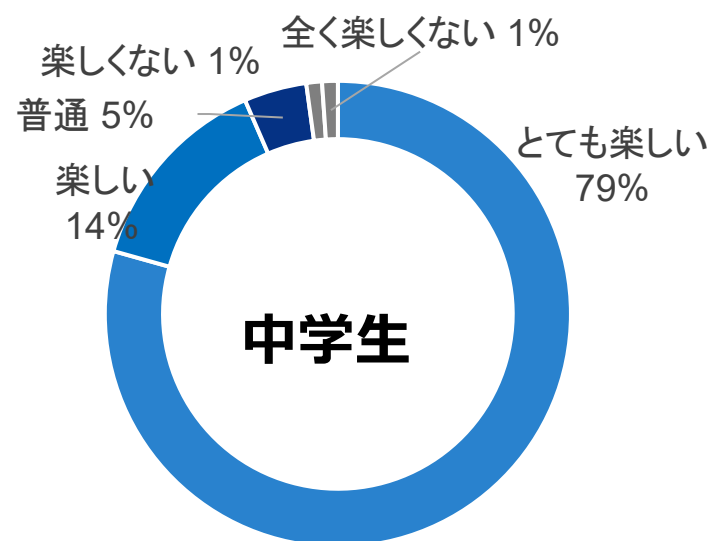
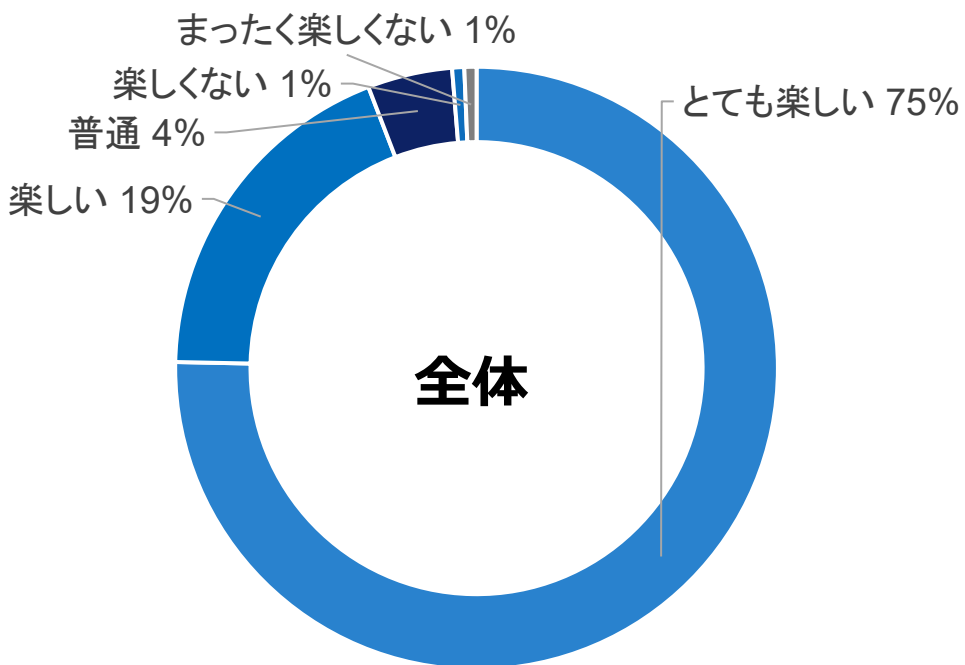
言葉・取り組みの認知度

- ◆「リスペクト」「フェアプレー」は、子どもへの認知度も非常に高い。
- ◆一方、「セーフガーディング」「暴力等根絶相談窓口」の認知度は低く、子どもへの周知が課題。



今、サッカーは楽しいですか？

- ◆ 全体で90%以上が「とても楽しい」「楽しい」と回答、「楽しくない、全く楽しくない」と2%が回答。
- ◆ 中学生は楽しくない「全く楽しくない」と回答した中学生はいなかったものの、年齢が上がるにつれ「楽しい」の割合が減り、「楽しくない」の割合が増える傾向。



楽しい、とても楽しい

- 選手や審判で人間としての成長を日々感じられるから。
- 見るのもやるのも、吹くのも楽しいからです。
- 仲間と喜びを分かち合える
- 自分を表現できるから
- 人々とのコミュニケーションやチームで目標を達成していくようなところ
- 自分が変わろうときっかけをくれたスポーツだから
- やり遂げたときの達成感
- どうなるかわからないあのドキドキ感
- 何も起きてない時間がないから
- サッカーというのは僕にとって人生の1部であり、誇りだから。
- サッカーは体を動かすことはもちろん、人生について教えてくれてとても面白い。
- 奥が深い
- 色んな大会で多くの関わりを感じれるから
- ルールや審判を深く知ると、試合を観ていても自分で気づくことが増え、ただみるだけではなくるから。
- 選手から審判員、指導者になりサッカーの深さ、面白さを再確認できた
- 「選手」にスポットライトが当たることが多いけれど、関わり方が沢山あるからです。我々のような「審判員」もそのひとつですし、「指導者・コーチ」、「ファン・サポーター」、「役員・運営スタッフ」などなど。それぞれの立場でサッカーの見え方・感じ方・関わり方が違いますし、やりがいも多種多様なので、本当に奥深いスポーツだなと日々感じています。
- 普段色々辛い事だったり、悩む事だったりがある時もサッカーをしている時はそれを忘れて、心から楽しめるから。
- 一般のサッカーに興味がない人からしたらボールを蹴るだけのスポーツと思われるかもしれませんが、そのボールを蹴ることに技術が詰まっていて、その技術を高めるのが楽しいです。

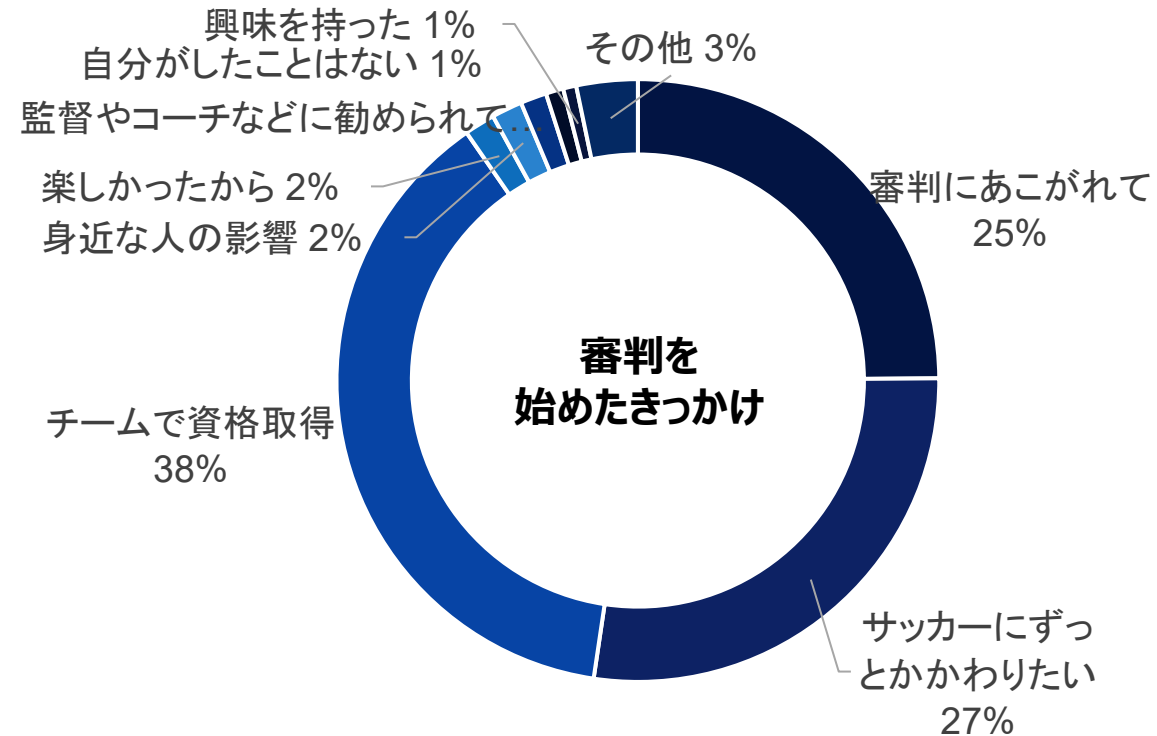
- 努力すればするほど上手くなるし、努力しても上手にならないことはやり方を工夫すれば上手になるのに加えチームとして一つの目標に向かって頑張る数少ないスポーツだから。
- サッカーは、とても細かく難しいスポーツですが、様々な要素が絡み合っているため、その分試合を見る上での変化や、プレーをして行く中で、自分で考えた事を実践したり、それは良い考えだったと分かったとき、成長の実感を得られ、サッカーへの興味が更に深まり、とても楽しいと感じます。成長面の他にも、とても奥の深いこのスポーツを見て、プレーに取り入れるのもそうなのですが、分析等も少し面白いと感じ、とにかく、サッカーが好きだからです。
- 審判員と選手の両立をクラブの子たちそして家族友人から認められていて安心感があるからです。
- 勝ち負けがはっきりするし、自分に対する課題もすぐに見つけれるから、練習して上手くなった時の達成感が他にないくらいあること

普通、楽しくない、とても楽しくない

- 審判以外に役に立てていないと感じる
- 最近色々悩んでるから。
- 怪我をしていて今できないから
- 自由な時間が少ない
- やらされているのをすごく感じ、あまり楽しいわけでわない
- 楽しい時もあれば楽しくない時もあるから。面白さと悔しさがあるから
- サッカーをしているときにおもしろいと思ったことがあまりないからです
- 監督が怖い、上手いかわなくて責めちゃう
- サッカー協会はRESPECT等を掲げているものの、特にジュニア世代は依然として、怒る、怒鳴る、しかる指導が全くなくなっていない。加えて熱中症対策等も形だけで、本当に命を守りたいならば8月は昼間の練習や試合を禁止するなどすればいい。結局形だけになっている。

審判を始めたきっかけは何ですか？

- ◆ チームで取得するほか、何かしらのサッカーへのかかわりを持つことを目指し取得。
- ◆ 審判にあこがれて取得するケースも多数。



審判を始めたきっかけ その他

- ・ チームでの活動の幅を広げるため
- ・ サッカーに対する視野を広げるため
- ・ サッカーにかかわれない期間があったから
- ・ 部活動の先輩に怒られてから

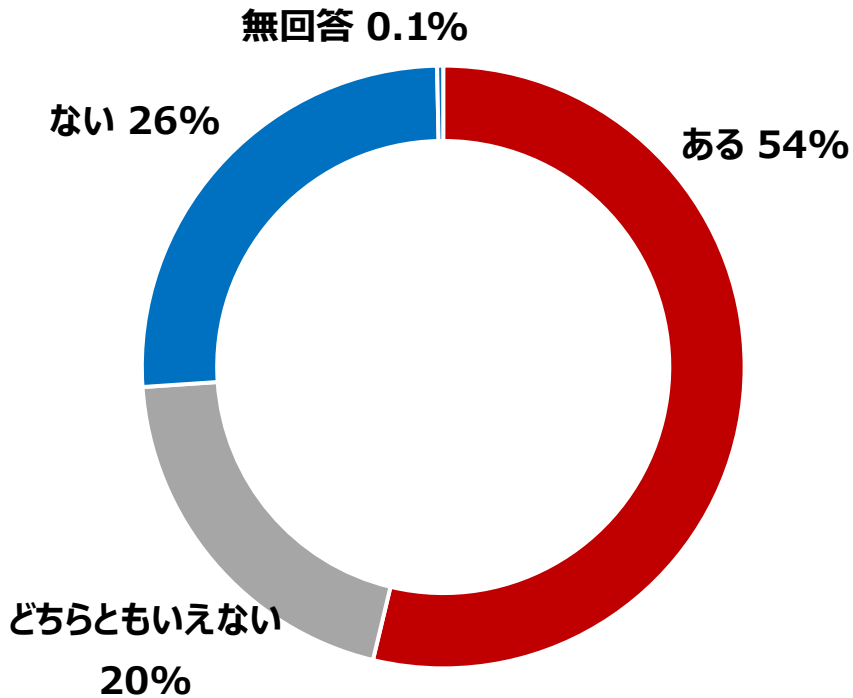
やりがい、よろこび

- 両チームの選手・監督から嬉しい言葉をかけられながら握手をされたとき。
- 選手が安心安全にプレーできたとき。試合後の握手を笑顔でしてくれたとき。
- 試合が終わった後に、ありがとうを言ってもらえた時
- 両監督にありがとうと言われた時
- 試合終了の笛を吹くとき
- 試合が円滑に進んできちんと終われた時
- 選手や、チーム役員、保護者など周りからの応援やお礼されたとき
- 審判では、この試合が良かったと思ってくれるのが1番だと思っています。そしてナイスジャッジや、審判に対するリスペクトを聞くのが1番のやりがいです
- 試合を通して、文句や異議を言われることはあるが、試合終了後には、選手やスタッフに「ありがとう」と言ってくれることで、自分の役割が報われる気がする。
- 会場に行った時に声をかけて貰えたこと
- 公式戦等を吹いていて、間違えを犯してインストラクターの方に教えていただき、成長できたと感じた時。副審をやっていて、主審の方に感謝された時。
- 誰もが納得できるレフェリングが続き、大きな大会に推薦されるとき。
- 選手が安全に試合を楽しめるようにサポートできたときや、試合を大きなトラブルなく終えられたときにやりがいを感じます。また、経験を積んで自分自身の成長を実感できることもうれしいです。
- 審判チームでお互いの連携がうまくれたり選手たちといい関係のまま試合を終わらせられた時
- 正しく正確な判断ができた時
- 審判をしてくれる人がいてはじめて試合が成り立つから。選手の良いプレーも、悪いプレーも身近で感じられる
- 試合を支えることのやりがいと達成感。
- 終わった後に感謝された時や、上級審判やチーム関係者から褒められた時。また、自分の中で納得できないレフェリングした時は悔しい思いやもっと上手になりたいと感じるところ。
- 審判として取り締まるような事はしません。選手達との対話を重視し、最高のパフォーマンスを共に体感できる。
- 選手としてもルールをしっかりと理解できること
- 選手の頑張りを間近で見ることができるし、選手たちの頑張る姿に心が動かされてしまうため。選手の涙が1番心にきます。
- 審判の視点でしかわからないサッカーの深いところ分かる
- 試合を観ていて、「こういう時にこうしたら、オフサイドを取らずにうまくできるな。」など、ルールに違反しないようなポジションの取り方が分かるようになったとき。
- サッカーと長く持続的に関わることができ、体力の少ない自分でも初歩的な段階から挑戦できる
- 子供達の役に立てた時です、
- マネージャーとして部活動に所属する際に、チームでの活動の幅が広がったこと。
- プレーヤーでサッカーを続けていたら絶対行けなかったところに行きよりレベルの高い試合を間近で見れること
- 素晴らしいプレーを一番近くで見れる
- いろんな方向からサッカーに関われる
- 「人」とのつながりを増やすことができるのが非常に魅力的だと思います。県や地域、全国のユース審判員研修会に参加させていただく中で、同年代のユース審判員の仲間と繋がることができ、県内にいるだけでは極少の存在でも、全国に目を向ければ「こんなに同じ志をもった仲間がいるんだ！」と勇気を貰えます。他のユース審判員のレフェリングやOFF THE PITCHの立ち居振る舞いを見て、刺激を貰えたり勉強になることも多くあります。また、大人の方と関わる機会も多いので、礼儀や言葉遣い、報連相だったり、社会のマナーやルールを学ぶことのできる絶好の役割が「審判員」だと思います。「横」のつながりも「縦」のつながりも増やせるところがやりがいです。
- 難しい判断を迫られることもありますが、やっていて様々な方々とサッカー審判というものを通して関わりを持てることが私にとっては、1番嬉しいことです。落ち込んだり自責の念に駆られそうになったりする時も、そのような方々の言葉に救われた事が何度もあります。
- 審判をやる前は知らなかった審判の気持ちがわかった時。
- コートの中で選手目線ではなく客観的にサッカーを見れるところ

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不安を感じたりすることはありますか？

いやな思いや不安を感じることがない

- 担当した試合ではリスペクトを持ってしてくれているから
- とても良い方々に囲まれています。
- 環境が良いから
- 自信を持って審判をしているから。
- 判定に迷う場面があったり、選手や指導者、保護者からの言葉に不安を感じたりすることがあります。しかし、経験を積むことで少しずつ自信がついてきます
- 自分は審判で決定権は自分にあるから。
- サッカーに携わる全ての人が、世界1のサッカーを目指しているため、みんながサッカーを楽しむために活動しているから
- 選手・チームスタッフが、審判員に対してリスペクトの心を持っているから。
- そんなに抗議をしてこないし、審判を担当させてくれるチームの監督が審判をリスペクトさせてるから
- 自分自身、審判初心者のため周りが自分のミスを責めず、フォローしてくれたから不満を感じたりはなかったです。
- 周りの大人がサポートしてくれている
- 知ってる人がいて何でも教えてくれるから
- 理不尽なことをされたことがないから
- 楽しいから」
- 選手や監督からの野次が飛んで来ても、全部聞き流すため。



いやな想いや不安を感じることがある

- 選手や指導者、審判指導者から厳しい言葉で叱責されることがあるから。
- 異議や暴言、陰口
- 判定に対する野次
- 判定で抗議されて、強い口調でものを言われた時。
- 死ねと選手に言われた時
- たまに同年代の選手たちに判定できないなら審判やめろであったり死ねであったり暴言を言われたとき
- リスペクトが完璧にされてはいないから。
- 社会人リーグの選手に暴言や的外れた言葉、監督コーチから心無い言葉を言われる時。
- ミスが試合結果に直結してしまう可能性があるから。
- 審判活動している時は抗議などは特にないけど、選手である時相手が抗議をしつくしているのを見ているから
- 選手たちからの抗議やオフサイドの時副審が勇気ない時
- 直接言わずに裏でグチグチ言ってくるから
- 際どい判定に汚い言葉でやじられる
- 選手の抗議や、観客のブーイング、「正しくジャッジするのが当たり前で、審判としての責務を完遂しても褒められることはない」というプレッシャーがあるから
- 難しい判定で迷ったり、ミスをしたら文句を言われることもあるし、自分の判定のミスで選手たちが悲しい思いをすることもあるから。
- 誤審しないか不安 自分の判断が正しいか自信がない
- 際どい判定にもはっきりとどちらかの判定を決め切らなきゃいけないから
- 感情的になる時がたまにある
- 判定に迷う場面があったり、選手や指導者、保護者からの言葉に不安を感じたりすることがあります。しかし、経験を積むことで少しずつ自信がついてきています
- まだやったことがないので、わかりません。よく父がオフサイやったのに、間違えたとか、あれ押してたなあ、僕たちの試合の審判をしたときの動画を見返しながら、反省していて、難しそうだなあと少し不安を感じる。でも、やりがいのあることだと思っています。
- ユースだからといって強く当たられる
- 大人の審判にはヤジる事はないが、中学生の審判には平気でヤジる。そもその土壌が変わっていかないといけないはずなのに、男尊女卑の考え方が未だ根強く残っていると感じます。試合で審判をする際、固定観念や女性を見下す雰囲気を感じない日はないです。セクハラめいた発言や、人格を踏みにじるような発言を弱い立場の人に頻繁に行っているような方も度々見かけます。それはサッカーに関わる者としてあるべき姿とは異なるのではないかと思います。
- 指導者にきちんと指導すべきだと思うが、時々指導者がヤジっている現場を見たことがあるが、最低だと思う。
- 監督からの強い抗議、特に中学生年代の試合では監督が抗議をすると選手も便乗して抗議してくる事が多い。反対に監督がリスペクトを持ってしっかりしているチームはそんなことはしてこない。
- 審判の判定に納得がいけない時に、プレイヤーからの「なんで?」と言う怒りや不信感は、自分もプレイヤーだからわかります。でも、応援席からの保護者の暴言はきついなと感じます
- 一生懸命やってもミスや間違いをしてしまうことがあってそれが重要なミスな場合責任を任されるからです
- 自分の判断が間違っているかもしれないという感覚になってしまうことがあるから
- 誤審するのは怖い
- 自分のミスを批判されるのはしょうがないけど、ミスを再発しないかどうかは少し気にする
- 自分は鈍感なので特に感じていないが、サッカー未経験から審判を始めた人が抗議などされてサッカーにネガティブな感情を抱くようになってしまったのを見た。
- まずは、異議や心ない言動を浴びせられることがあるのが大きなところだと思います。そういう言動をする張本人の心には何も残りませんが、傷つけられた方は長く心にダメージを負います。みんながみんなすぐに切り替えられるわけではありません。自分なんかもそういう言動に過度に敏感になりビクビクしながら、顔をうかがいながら審判をしていた時期がありました。そういうレフェリングはやっぱり楽しくないですね。

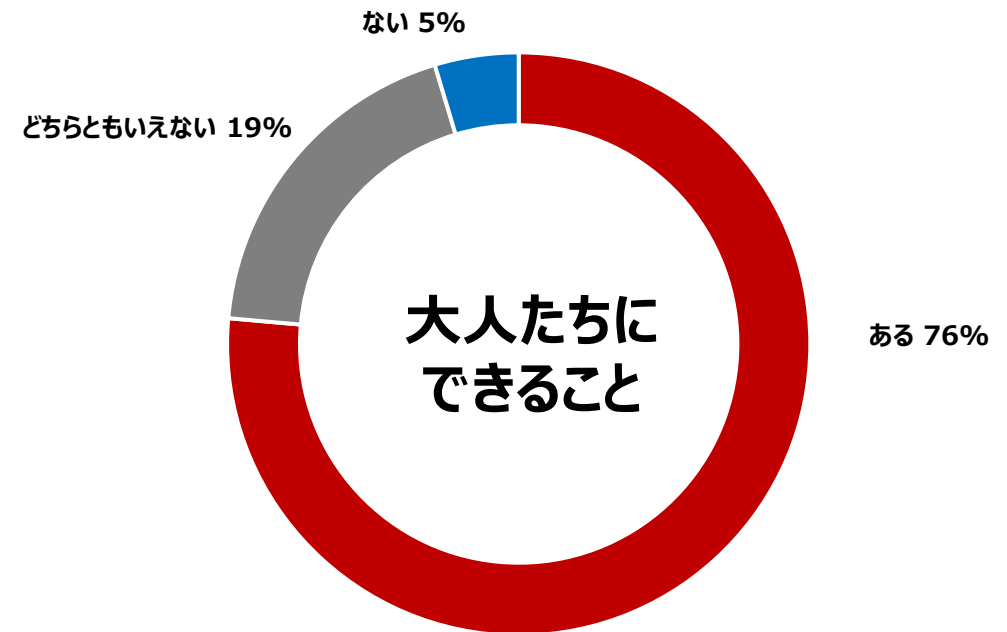
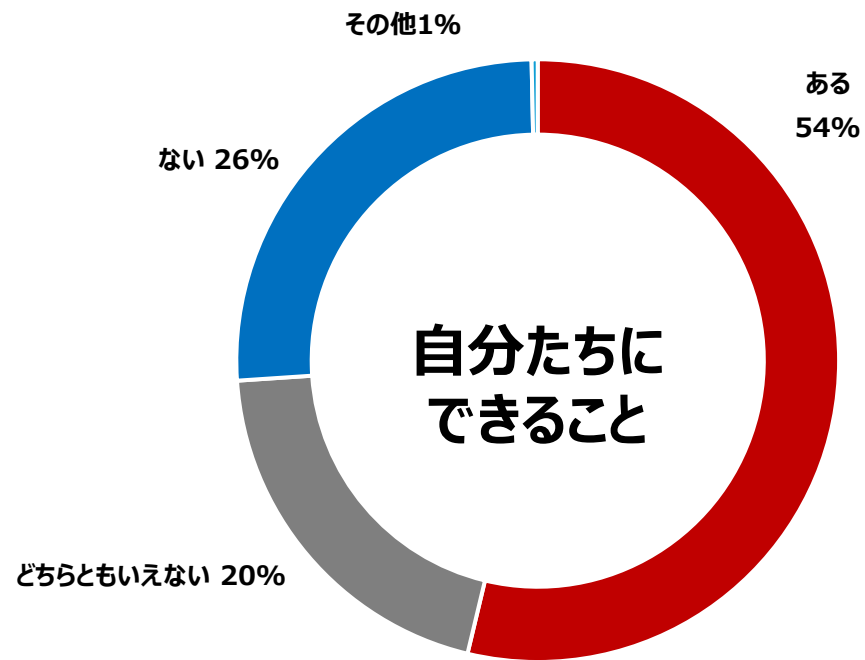
安心安全に楽しむために大切なこと

- 公平に正確にジャッジすること
- 指導者や審判のレベルをあげること。
- 監督コーチがリスペクトを持ち、選手がリスペクトをない行為をした時には、監督コーチが言うべき環境を整えること。
- 審判へのリスペクト
- お互い(選手・関係者と審判)のリスペクト お互いリスペクトを持ってプレーをして楽しめる環境を作ること 自分に与えられた役割をしっかりと、互いに認め合うこと
- 誹謗中傷を止める。競技規則の普及。
- 暴言に対して厳罰化をする。 コーチ陣への遠慮のいらぬカード提示
- 審判へ、ジャッジの異議を申し立てる際のルール細分化、明確化、厳重化。
- 選手や監督、観客などが野次を飛ばしづらい環境を作ること、皆さんが安心して審判をすることができると思います。
- 選手、指導者、保護者、審判がお互いを尊重し、ルールを守ることが大切だと思います。また、審判が安心して活動できる環境をつくることも重要だと思います。
- 社会人リーグの選手たちに何か伝える
- 自分がされて嫌なことをしない（暴言、遅延行為など）
- 準備をして段階を踏むことだと思います。上の試合をどんどん吹きたいというチャレンジ精神はもちろん大事です。しかし、競技規則の理解もレフェリング技術もフィジカルも整っていない状態で、じゃあ例えば社会人の県 1 部の試合を吹きましよう、となっても結果が目に見えています。選手が日々トレーニングに励み、試合に向き合っているように、我々審判員もそれに負けないくらいのベストな準備をして、選手たちの期待に応えられるような真摯な姿勢が必要だと思います。
- 自分が選手だったらこのジャッジでどう感じるかを考えながら判定する
- 選手と監督と審判が対等に対話できるあり方。
- 正々堂々とプレーも応援もすること
- 選手ファーストの精神を忘れず、関係者に敬意を忘れないこと。
- みんなどんな役職でも人間であるという認識をもつこと
- 弱い人をネガティブな発言で攻めるのではなく、アドバイスを出しあったりすることが大切
- 選手の健康第一を心がけること
- 怪我してからじゃ遅い、そうならないために小さい芽から積むことが大事だと思う。

- 選手、スタッフだけでなく保護者、サポーターもユース審判であることを知ること。
- フィードバックを受ける環境があること
- フィールド内外に関わらず、その場にいる全ての人が何事に対してもリスペクトの気持ちを持ち、言動、行動することがとても大事だと思います
- 相手にリスペクトの気持ちをもって試合に望むこと。サッカーは相手がいて成り立つということを中心に止めておくこと
- まず一つ目は安全にプレーできる環境下であること。二つ目は安心、安全にプレーしようと言う心構えでプレーすること。三つ目は、安心、安全にプレーできる体の状態でプレーすること。
- 学生だから判定に強さがない場合が出てしまわないよう、あくまで一人の審判員としてみてほしい。
- ルールをしっかりと理解し、自分の判断に責任感をもつこと
- これこそ、フェアプレーの精神だと思います。どんな事があっても、それがサッカーの面白さであり、実際にそれに助けられてる事もあるだろうし、なにより、サッカーをさせてもらっている事への感謝を知るべきだと考えます。
- 審判に対してリスペクトをするのはもちろん、互いの選手、監督、お父さんお母さんにもサッカーに関わる全ての人をに対してリスペクト、言葉遣いをしたら良い。
- 選手と審判、コーチ・監督だけが試合を作るのではなく、会場運営の人や観客なども 1 つの和となり試合を作っていくこと。
- しっかりなんでそうなったのかを説明できるようにしておくこと
- ファールはなぜファールか納得していなかったら説明してあげる。
- サッカーに関わる人たちがほかの人の気持ちを考えながら行動、発言をしてほしい。
- 適切な健康管理と救命体制が必要
- 大人の「勝ちたい」「勝たせたい」をなくすこと。部活動は生徒が主役のはずなのに、教師や外部コーチが何を勘違いしているのか、まるでリーグの監督気取りで訳のわからない指示を出す。審判の判定にも大きな声で文句を言う。言われた主審は何事もなかったかのように試合を続ける。そのくせ、生徒が文句を言うとすぐに呼びつけカードを出したり注意する。おかしくないですか？勝てば自分たちの采配のおかげ、負ければ選手の責任。やっつけられませんか。

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、できることはありますか？

- ◆ 73%の子どもたちが「自分たち」にできることがあると回答。
- ◆ 66%の子どもたちが「大人たち」にできることがあると回答。



自分達にできること

- 審判員として技術向上に努め、選手や指導者から批判の声が出ないレフェリングを目指すこと。
- 自分たちもリスペクトを持って選手に接すること。
- 誰に対しても公正な判断を下すこと。それが審判への信頼につながるし、楽しい試合の実現にもつながる。
- 選手や監督が本気ならこちらも本気で向き合い、取り組むこと。
- 審判チームで助け合い、事の解決を行う
- 多くの選手、ベンチ要員、観客にとって納得できるジャッジを行うこと。
- 沢山の情報を持って試合に臨むこと。
- グリーンカードを積極的に出す
- ファウルや警告、退場のラインをしめす
- 声かけでフェアプレーを呼びかけて選手同士をプレーで戦わせる
- 選手のケガや体調不良に気づけるように気配りをする。
- ルールを伝えて行くこと。サッカーはみんなで作る事を伝えたい
- とにかくコミュニケーションをとる。試合前の監督への挨拶
- 公平にジャッジし、お互いにリスペクトを欠かさないこと。自分ができる最大限の準備を行うこと。
- 自分がプレーするときはリスペクトを忘れず、逆に審判のときは公正な判断を自信をもって下せるようにする。
- チームを背負っているという感触を持つこと。試合を仕切る権利を持たせていただいているという感触を持つこと。
- 審判に対する暴言や強いクレームを減らし、お互いを尊重できる環境をつくってほしいです。また、審判が安心して活動できるようにサポート体制を充実させ、ルールや判定について学べる機会を増やしてほしいと思います
- 競技規則を熟読すること。競技規則は、いざというときに僕らを守ってくれる「盾」です。サッカーに関わっている以上、競技規則にたてつくことができる人はいません。自衛（自らを守る）のために欠かせないと思います。
- 学生向けにもオープンな会を行い、対審判の向き合い方を広めてほしい
- 判定に意見した選手はカードを出す。今はあまりにもプレイヤーが審判へのリスペクトが足りない
- サッカー競技の精神に基づき、カテゴリーや年代、国籍に囚われず、審判員目線でコミュニケーションをとること。
- 熱中症対策、天候の急変による試合中断、脳震盪への対応
- 挨拶や礼儀を徹底する
- 正しい判断をすれば貢献できると思う
- サッカーを楽しいものにするために、そして選手や監督、チーム関係者の人達にリスペクトするために、全力で取り組むということ。そして審判から見えるサッカーの世界をもっと広めること。
- 私達は未成年ですし、出来る事に限りがあります。勉強と審判活動の両立で精一杯なのにこれ以上何を求めてくるのだろうと、苛立つ事もあります。子供に求める以前に環境を作る主体である大人の皆さんに私達の立場に立って、今の現状をより良くして行く方法を考えてほしいなと思っています。
- プレイしている選手の人たちになんと言われてもはっきりと自分の判断に自信をもつこと
- 1つ1つの判定を丁寧にして、選手が、楽しめるような環境をつくる。危ない方法でのチャレンジにはしっかりと的確なカードを提示し、選手の安全を確保する。
- トラブルになりそうな状況だったらすぐに仲裁に入り場を納める
- 審判では、その試合の状況下で1番適切な選手が納得できるような判定を下すこと、選手は、審判の下した判定に対して、いかなる状況であってもあまり野次を飛ばさないことを心がけることで審判、選手双方が安心して、安全に、サッカーを楽しんでプレーする事ができると考えています。
- 僕たちは無力です。僕たちの意見は黙殺され、大人の気に食わない発言をする干されます。これが現実。大人が変わらなければ、僕たちのサッカーをする環境は変わらないと思っています。僕たちは一生懸命にプレーするだけ。環境を整えるのが大人の役割。その環境が悪いと僕たちはサッカーを楽しめません。そのために、偉そうなことを言うのであれば、姿勢で示してほしいと思います。僕たちはそんな大人の言動を見えています。

大人たちにできること

- チーム、特に指導者に対して、問題のある言動を取ったときには厳罰に処するといった、中傷などに対する厳しい態度をとること。
- 子供だからというリスペクトのない言動を止める
- 暴言を先導したりしない。暴言を確認した際には当該選手に対し厳罰な対応をする。
- ジャッジへの不満や審判のミスに対して声をかける際は口調、言葉遣いを特に、大人としての自重して行うこと。
- 監督やコーチとしてベンチに入る際には生徒の態度についての責任をしっかりと取ること。特に指導者が普段からフェアプレーやリスペクトの精神を教える。
- 各チームからもっと審判の判定についてのリスペクトを示すように伝えてほしい
- 子供達を全力でサポートし、日本がワールドカップで優勝できるような環境を作る。
- 支えて、時には教えてあげるなど、審判の知識を増やしてあげる事。
- ユース審判員が主審を担当する公式試合にすべてウェルフェアオフィサーをつけること。口で言うほど簡単ではありませんが、そういう然るべき大人がいない場で、ユース審判員は誰が守ってくれるのか、現状では不透明です。一人で不安や辛さを抱えこまなければならないのか、というそれは間違っていると思います。安心して審判に集中できる環境づくりが必要です。
- チーム側への教育
- 学生が全力を尽くしてジャッジをしていることを配慮して声を出して欲しい
- ユースの審判だろうとやってることは大人と変わらないということを理解する。どんな話でも良いので審判を交えて対話すること。
- 大人の審判にはヤジる事はないが、中学生の審判には平気でヤジる。
- 指導者にきちんと指導すべきだと思うが、時々指導者がヤジっている現場を見たことがあるが、最低だと思う。
- 分からない時は教えてほしい
- ユース年代は、あくまでサッカーを楽しむことを忘れさせないことを重要視する。
- ヒートアップしすぎて自分ではどうにもならないとき
- 熱くなりすぎずしっかり誰が聴いても嫌な気持ちをする人がいない声かけをすること
- 大人の事情を入れないで欲しい
- 不公平な判断に対してちゃんと意見をしてくれる事
- こどもの判断も尊重すること。選手1人1人を大切に差別なく接すること
- 審判をリスペクトすることを大人が行動して見せることで子供たちも自然とリスペクトの行動を取ってくれると思う。
- Jの選手がお手本を見せる
- 子供は大人をうつす鏡のようなもので、日頃から監督、指導者、保護者がリスペクトの気持ちの大切さを伝えるか、伝えないかでは、ジュニア世代以降の人格が大きく変わってくると思います。なので、練習、試合を通してその都度、何度でもリスペクト精神、感謝の気持ちを伝えていくことが大切だと思います。
- 審判報酬やその日1日の扱いを1人の人間として行う事に意義があると思います。やはり子供だからと言って侮った見方をされていると私達も分かりますし、悪気がなかったとしても心地いいものではありません。大人と同じように敬語で接したり、名前を呼んだりする事によって、そうされた側も責任感が芽生えると思いますし、いいレフェリングにつながると思います。
- 相手のことをしっかりと考えてその発言が相手にどのような影響を与えるのかを思うようにする
- 審判は誤審をすることもあり、それは仕方がない事だから、大人の方々のアドバイスが必要な事もあるのではないかと思います。
- グリーンカードをより布教する
- どうしても相手が怒ってしまっで試合後に近寄ってきたりした時に仲裁してくれること
- 観客の人たちは選手がプレーをしていて気持ちよくできるように、良いプレーが出たときは味方相手関係なく、拍手をしたり、コーチ・監督などは相手選手、コーチ・監督などにリスペクトを持って、言葉などを最低限丁寧にする。
- 年に一度のフェアプレー講習会の実施やスポーツ意識の向上
- 沢山の経験の場を設けていただくこと
- 審判員の人数を増やすことが重要だと考えています。私の所属チームでは、総体の際に審判員が連続で試合に出ていることが多くあります。審判員を増やすことで負担を軽減し、より円滑に試合を進めることができると感じています。また、指導者はプレイヤーに対して審判員へのリスペクトをする教育をしなければいけないと考えています。

その他意見や感想 1

- 安全安心なレフェリングができる環境づくりをよろしくお願いします。
- 審判を始めてから、ルールだけでなく責任感やコミュニケーションの大切さも学びました。これからも勉強を続け、より良い審判になれるよう努力したいです。また、審判も選手も安心してサッカーを楽しめる環境がさらに広がることを期待しています。
- もっと沢山のの人に審判になってほしいし、自分も沢山審判したいです！
- ユース審判の育成の充実させて欲しい。
- 安心して任せられる審判員になれるよう頑張ります。
- 審判含めてサッカーはとても素晴らしいスポーツだと思います。これからも大好きなサッカーに関わり続けていきます。
- 競技規則にもある通りサッカーは世界最高のスポーツだと思う。だからこそ、悪い部分が目立ってしまうのも事実だと思う。その悪い部分をもっと減らせば、サッカーに関わる全ての人だけでなく、まだサッカーについて詳しく知らない人たちにもサッカーの楽しさや面白さが分かると思う。
- 4級の審判講習の時にオフサイドが体の一部でも出ていればアウトなのか、足の一部が出ていればアウトなのかの話がなく、最後は自分で調べたがしっかりと講習会なので説明して欲しかった
- こどもから大人までの全ての人がサッカーを全力で楽しんで欲しい
- 僕は兄の影響で、小学生の頃に審判講習があることを知り、興味を持ち、(兄が受ける講習を横から眺め、難しすぎて…) 中学生になったら講習を受けよう!と決めていました。同じように小学生でも審判の事を知りたいと思う子はいると思います。資格取得というのは難しかもしれませんが、ジュニア世代でも審判の事を分かりやすく学べる機会だったり、なんなりがあればよかったなと思います。そうすれば、審判側の気持ちをより感じられて、素敵なプレイヤーが増えると思います。
- サッカーを取り巻く環境は日々変化していると感じます。今年はサッカーW杯が行われ、世の中でもサッカーに対する関心は高まっていますが、審判という職業に関する理解はまだまだ進んでいないように思います。完璧を求める姿勢というのは決して悪い事ではないと思いますが、その声に容赦なく晒される審判員という仕事は楽しさややりがいだけでは片付けられません。近年は猛暑や大雨によってコンディションの調整がより難しくなりつつあります。大人でさえ、やりたくないと言う人が大半の審判員という仕事を未成年が務めるとするのは、並大抵の事ではないという事をもっと様々な方に知って頂きたいです。若い審判員を増やそうという試みは理解出来ないものではありませんが、大人が求める事に懸命に応えようとする子供に対して、もう少し目を向けて頂きたいものです。
- 若い歳のうちから、もっと高いレベルの審判資格取得ができるようになってほしいと思います。
- 私は高校生の女子フットサル審判員です。審判を始めたばかりですが、サッカーの審判員と比較して、審判員同士の交流機会が圧倒的に少ないと感じています。ユース審判、特に女性審判やフットサル審判員同士がつながったり、より成長したりできるような機会が欲しいです！(JFA ユース審判員 海外遠征プロジェクトもサッカー審判員対象なので、、、フットサルverがあれば、モチベーションにもなるなと思いました。)
- 審判は、試合の最高責任者でありながら、試合の一番の理解者・参加者である。いつ何時も、自分が試合の第一線に立てる存在で在り続けたい。
- 中学の試合などはハイドレーションブレイクの時間が3もないからしっかりと3種のルールもしっかりしてほしいと思っています。ご検討をお願いします。

その他意見や感想 2

- 今後もこのようなアンケートを実施して、ぜひユース審判員の声を聞いてくだされば幸いです。よろしくお願い致します。
- 審判について色々考えて良かったです
- ユース審判員の仲間が増えると嬉しいのでこのような取り組みに積極的に取り組みたいと思います
- 審判員の事や、審判員から見えているものは審判員にしか分からないので、それを発信していくというのが大切だと思います。サッカーに関わる皆さんにリスペクトをしていただくことも大事ですが、僕たちの意見や思い、考えをしっかりと表明するのも必要な事だと思います。なのでこのようなアンケートはすごくありがたいです。もっといろいろなところに届けていただきたいなと思いました。ありがとうございました！
- この意見も表に出ると都合の悪い大人に黙殺されるのだと思っています。形だけのアンケートかどうか、しっかりみていきたいと思います。
- 1チームないし1地区にスポーツダイレクターを置き、クラブのコンプラ体制を監視してほしい。育成年代の移籍がしやすい環境を整えてほしい。チームに合わないからサッカーをやめる子どもが減ってほしいので
- 審判に対しての誹謗中傷をsnsに書き込まないでほしい。担当した審判がもうやりたくないと感じてしまうから。
- これからもJリーグや、地域社会のサッカーを支えることに全力を尽くし、どうかJリーグの審判が機械化しないことを願います。審判は人であり必ず失敗があります、けどどこかで審判へのリスペクトを持ってまた、憧れを持っている人も必ずいると信じて審判という仕事に誇りを持ってほしいです。
- W杯の審判、あんなんでええの？ 笛の吹く基準がそのときの雰囲気流されてバラバラな気がします。Jリーグのほうがレベル高そうなのに、なぜ日本の審判はいないのですか？
- 審判をしていると、年代関係なく審判します。社会人の試合中、判定への異議に圧倒されそうになりましたが、審判員として毅然とした態度を意識し、自分が何を見てどう判断したのかを丁寧に説明し、試合終了のホイッスルを鳴らした直後、大人の選手たちから「ありがとう」と言葉をかけてもらえたことは大きな自信になり、コミュニケーションの大切さを学びました。最後に、ユース審判への支援よろしくお願いします。
- もっと上の級を取得したいと思い講習会への参加を考えていますが、講習会の内容や当日の雰囲気、中学生が1人で参加しても大丈夫なのかなどが分からず、少し参加しにくいと感じています。そのため、講習会の様子や雰囲気が分かる動画や写真などをもっと発信していただき、初めて参加する人や中学生でも安心して参加しやすい環境をつくっていただけると嬉しいです。
- 私は高校生の女子フットサル審判員です。審判を始めたばかりですが、サッカーの審判員と比較して、審判員同士の交流機会が圧倒的に少ないと感じています。ユース審判、特に女性審判やフットサル審判員同士がつながったり、より成長したりできるような機会が欲しいです！（JFAユース審判員 海外遠征プロジェクトもサッカー審判員対象なので、、、フットサルverがあれば、モチベーションにもなるなと思いました。）
- 資格をとったけれど、副審や審判としてやる機会がなかなかないので、もっと協会からも初心者の実践を見据えた機会があるといいです。
- グリーンカードを無料でもらえたようにイエローカードとレッドカードを送ってほしいです。愛着があった方がやる気になります！
- 審判をしていると、年代関係なく審判します。社会人の試合中、判定への異議に圧倒されそうになりましたが、審判員として毅然とした態度を意識し、自分が何を見てどう判断したのかを丁寧に説明し、試合終了のホイッスルを鳴らした直後、大人の選手たちから「ありがとう」と言葉をかけてもらえたことは大きな自信になり、コミュニケーションの大切さを学びました。最後に、ユース審判への支援よろしくお願いします。
- 審判は、試合の最高責任者でありながら、試合の一番の理解者・参加者である。いつ何時も、自分が試合の第一線に立てる存在で在り続けたい。
- これからも安心安全で楽しくサッカーができるように審判をしていきたい
- これからもたくさんサッカーに関わり続けたいです